**青山学院大学総合研究所**

**2023年度SDGs関連研究補助制度募集要項**

持続可能な開発目標（SDGs）は、国際社会が持続可能な世界を目指すため、2015年に国連で採択されたものです。SDGsの目標として掲げられた17の項目を達成することがその主旨となっており、発展途上国だけではなく、日本を含めた先進国もそれらの共通の課題を解決する方針が定められている。日本でも、政府が主体となってSDGsへの取り組みを推進しています。SDGsは2016年から2030年までを期間とする中期的な目標であることから、これからもSDGsへの関心の高まることが見込まれることに加え、その目標達成のための活動がより活発化していくことが予想されます。

実際に、多くの他大学はSDGsを推進する活動を始めており、SDGsへの取り組みは、本学にとっても喫緊の課題です。本学においても、SDGsと関連する研究を支援することによって、本学の研究面でのレベルを向上させ、SDGsに取り組む「世界のAGU」としての認知度を高めていく必要があることから、SDGsに関連する研究課題に対し総合研究所として研究を支援すべく、SDGsに関連する研究を下記の通り募集いたします。

**1. 研究内容の要件**

本学の研究面でのレベルを向上させ、SDGsに取り組む「世界のAGU」としての認知度を高めることに資する斬新な研究であり、今後の産学連携の基盤シーズとなることが期待される研究を対象とする。

**2. 研究期間及び補助金額**

研究期間：2023年4月1日から最大3年まで

補助金額：30万円（1年度あたり）

募集件数：20件  
※本研究制度は、AOYAMA VISIONより予算措置をしている制度です。AOYAMA VISIONは2024年度で終了見込みのため、2025年度以降の予算措置は未定ですので、ご承知おきの上、ご申請ください。

**3. 募集する研究内容**

SDGsで掲げられた17項目のうち、大学と関係が深い以下の11の各項目について、1~2課題程度、合計20課題を採用する（ただし、募集状況等により、各項目の採択件数については調整を行う可能性がある）。

それぞれの課題の解決のための、既存の研究を超えた、斬新かつ具体的な研究を募集する（すでに実施済みの研究の焼き直しは認めない）。

課題に取り組む手段として、SDG17の「グローバル・パートナーシップを活性化する」ものであることが望ましい。

なお1つの研究課題につき、複数の項目にて申請することも可能とするが、採択された場合の補助金額については、複数の項目にて採択された場合も、上記「2. 研究期間及び補助金額」にある補助金額となる（下記の11項目以外の6項目における研究を実施・計画の方は、別途、総合研究所までご相談ください）。

＜支援対象となる11項目＞

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **目標** |
| **SDG3** | **保健**：あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する |
| **SDG4** | **教育**：全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する |
| **SDG5** | **ジェンダー**：ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う |
| **SDG8** | **成長・雇用**：包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する |
| **SDG9** | **イノベーション**：強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る |
| **SDG10** | **不平等**：各国内及び各国間の不平等を是正する |
| **SDG11** | **都市**：包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する |
| **SDG12** | **生産・消費**：持続可能な生産消費形態を確保する |
| **SDG13** | **気候変動**：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる |
| **SDG16** | **平和**：持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
| **SDG17** | **実施手段**：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する |

※各項目の詳細は総務省「持続可能な開発目標（SDGs）」（指標仮訳）（別紙もしくは、下記URL）を参考にすること。

<http://www.soumu.go.jp/main_content/000562264.pdf>

**4. 申請方法および関連事項**

■ 申請書類：「青山学院大学総合研究所　2023年度SDGs関連研究補助制度申請書」

■ 申請受付期間

2022年10月6日（木）～　2022年10月25日（火）

留意事項

* 申請様式は下記URLからDLしてください。

研究者向け情報Web　「SDGs関連研究補助制度募集」  
　<http://rs.aoyama.ac.jp/soken/sdgs.html>

* E-mail添付にて、下記の通りご申請ください。

提出先E-mailアドレス：　[agu-tkk@aoyamagakuin.jp](mailto:agu-tkk@aoyamagakuin.jp)

宛先：　総合研究所担当　宛

メール件名：　「2023年度SDGs関連研究補助制度申請」

* この研究制度は、AOYAMA VISION より予算措置をいただいており、法人による採択審査を含みます。可能な限り専門的な語句は控え、一般的な表現で記載してください。

**5. 審査について**

(1) 総合研究所運営委員による書類審査を行い、総合研究所運営委員会で審議し、所長が決定します。

(2) 審査の結果については、申請者宛にE-mailにて通知いたします。

**6. 研究経費について**

* 研究経費の使途について、学校法人青山学院経理規則、学校法人青山学院物品調達規則その他の諸規則に基づいて行います。
* 本研究制度は、AOYAMA VISIONより予算措置しているため、汎用性の高い備品の購入は不可になります。
* 研究経費の内訳について、申請時の使用内訳を変更することはできません。

**7.「誓約書」の提出**

本申請の採択にあたっては、以下の内容を含む誓約書を提出していただきます。

* 本研究は自分が取り組む新たな研究であること。すなわち、既に自分が実施した研究の焼き直しではないこと。
* 本研究では、最終成果をWeb上に掲載することが義務づけられていますが、最終成果の公表にあたっては、著作権等の問題を惹起しないよう十分な配慮をすること。

**8. 「成果報告書」の提出**

本申請の採択にあたっては、研究期間終了時に成果報告書を提出していただきます。

**9. その他**

* + 提出書類にある氏名・所属・研究内容等は、広報活動のため、総合研究所、大学、学院が作成する刊行物ならびにWebに適正な範囲で公表されることになりますので、予めご承知おきください。
  + SDGs関連研究補助制度の研究成果を発表する場合には、青山学院大学総合研究所により助成を受けたことを必ず表示してください。また、論文のAcknowledgement（謝辞）には、青山学院大学総合研究所の助成を受けて行った研究の成果であることを必ず記載してください。
  + 提出書類は学院の個人情報保護の取り扱いに準じます。

以上

＜問い合わせ先＞

研究推進部研究推進課

　　E-mail：agu-tkk@aoyamagakuin.jp

TEL：03-3409-7472、内線：12031、12032

相模原事務部研究推進課

　　　　　　　　　　　　　　E-mail：kenkyuusienu@aoyamagakuin.jp

　　　　　　　　　　　　　　　TEL：042-759-6056、内線：42094